

新学期スタート

ここ中国北部の都市太原でも春が始まっている。温度差の激しい太原では、春の気候も穏やかではない。暖かくなったかと思えば突然冬のように冷え込むこともある。また湿度の変化も多いように感じる。暖かくなるにつれて、キャンパスとつながっている商店街はより活気づいていく。先月の旧正月連休中の閑散とした様子がうそのようだ。とりわけ授業が開始する第一週目は多くの学生でにぎわい、道が人でうまりなかなか進まないということもあったほど。

山西大学の新学期は3月9日から始まる。長期休暇が始まる時期にあった大きな行列はないが、スーツケースを持ってそれぞれの故郷からキャンパス内の寮へ戻る多くの学生の姿が見られる。この後期から新たにスタートする留学生もいる。日本をはじめ学年が春始まりである国々からも新しい留学生が加わった。



山西大学内の公園

学期開始直前の3月8日は国際女性デーだ。日本ではあまりなじみのない記念日だが、社会主義国やヨーロッパでは盛んだ。中国では祝日で、女性に関する会議やイベントなどが開催される。太原でも省レベルの大会が開かれた。日本でも駐日中国大使館でレセプションが行われた。



山西大学内の公園

月末になると、山西大学のキャンパスでは公園をはじめ多くの場所で色とりどりの花が咲き始める。なかには桜の花のようなものもある。このキャンパスのものが桜かどうかは未確認だが、実際中国にも桜は存在し、太原市内の公園でも見ることができる。桜が有名な地域もあり、例えばこの時期桜の多い武漢では、大学が桜の見物客のためにキャンパスへの入場料をとることもあるという。また旅行会社では、日本の桜を見に行くための国際ツアーが企画される。多くの桜の起源をもつ中国でも桜を見る人は少なくない。

杉浦聡太